

一般質問

市政を問う

定例会では、市政全般について議員から一般質問が行われます。今回は22人の議員が質問に立ち、42項目について行政の対応を質しました。掲載内容は、その要約です。 ※発言順に掲載

会議録の閲覧と検索



質疑や答弁などの詳細は、会議録で全文を確認出来ます。>第2回定例会の会議録は、8月下旬から図書館・市政図書室で閲覧出来ます。>会議録検索システムは、8月下旬から市議会のホームページで利用出来ます。

インターネット中継



本会議および常任・特別委員会の様子を市議会のホームページからご覧ください。>開催日に生中継を配信します。>録画中継は、本会議当日の4日後(土曜・日曜日、祝日を除く)から配信します。>スマートフォンやタブレット端末からでもご覧いただけます。

5 奥住匡人

(自由民主党)

気になる子への対策強化を

問 気になる子どもを持つ親のケアについて問う。
答 エールでは、各種グループやトレーニングに参加した子どもの保護者同士が支え合える仲間づくりを目的に交流事業を実施しています。

問 百草団地の高齢化の現状を問う。
答 入居者の高齢化率は公表されていませんが、百草団地の65歳以上の割合は35%となっており、日野市の平均の約25%より高くなっています。

問 市は百草団地地域へどう関わっていくのか。
答 土地利用の転換や建物の更新などの課題に対応し、地域ニーズに応じたさまざまな機能が立地できるように、都市計画制度の活用に向け、URなどと連携を図ります。

8 わたなべ三枝

(日本共産党)

多摩平地域の大型マンション建設に伴う、待機児童問題などについて問う

問 保育園不足が予測されるが、認識を問う。
答 市の未就学児の人口、保育需要の減少傾向は今後も続くと思込んでいますが、状況に応じた必要な対策を検討します。

問 特定地域の一時的な保育需要増加に対する整備については、慎重な検討が必要と考えます。
答 CO2削減・ごみゼロ社会へ、日野でも使用済み紙おむつの資源化を進めよう!

問 市の見解を問う。
答 導入には課題があり、広域での対応が必要と認識しています。国や都の動向を注視し、共同処理をしている3市で情報共有を図り、調査します。

11 峯岸弘行

(公明党)

障害者支援策について

問 デジタル障害者手帳の導入について問う。
答 料金減免を扱っている公共施設などで利用できるよう庁内調整を行います。

問 おくやみ手続きの支援状況について問う。
答 案内件数は前年度比50%以上増えている状況で、おくやみハンドブックをもとに説明し、各窓口でスムーズにつながるよう支援を行っています。

問 狭隘道路拡幅奨励金制度導入の進捗状況について問う。
答 他市の事例や財源に関する情報収集を進め、市に適した制度構築に向け努力します。

1 伊藤あゆみ

(自由民主党)

ママバパクラスとパパさんネットワークの強化で家族みんなが笑顔の子育て支援を

問 ママバパクラスの参加状況について問う。
答 沐浴コースは夫婦そろって参加する割合が高く、保健コースや医師講話コースでも半数近くの割合で夫婦そろっての参加となっています。

問 改正育児休業法の施行、テレワーク普及による父親の在宅時間の増加、子育てひろばを利用する父親の増加から子育て支援サービスを積極的に利用するための仕掛けが必要と考えました。

問 パパさん対象の子育て支援について問う。
答 子育てひろばで、父親向け企画を定期的に実施するなど、子育てを通じた居場所づくりに取り組んでいます。

3 岡田じゅん子

(日本共産党)

日野でも、所得制限・窓口負担をなくし、18歳までのすべての子どもの医療費無料化を!

問 市の考えを問う。
答 全ての子育て世帯への支援策として、所得制限撤廃は大きな課題であると認識していますが、市単独での負担は財政的に厳しい状況です。

問 高齢者、障害者の施設への食事支援を問う。
答 要望の声は直接届いていませんが、今後、状況把握を行い、物価高騰の要素も鑑み、総合的な支援策を考えます。

問 事業者支援を問う。
答 既存の支援を継続し、今後の状況などを踏まえ、交付金や補助金を活用して支援策を検討します。

6 島谷広則

(チームみらい)

日野市第二ごみ改革の成果と課題、循環型社会の実現に向けた取組を問う

問 プラスチック類ごみ分別収集完全移行後の排出状況について問う。
答 約90%が正しい排出ですが、10%ほどが可燃ごみなどの不適物です。

問 リユースやリサイクルに参画しやすくなる環境整備について問う。
答 民間事業者との連携でリユースを図るなど、資源物を行政で回収することなく民間回収を促し、不要なものは買わない、断る、持ち込まないなどを推奨し、ごみ減量、資源化率向上に努めます。

問 資源化率向上のための施策について問う。
答 公園や緑地など公共施設から排出される剪定枝および月1回グリーンセンターで市民から受け入れての剪定枝について民間事業者による資源化を実施しています。

9 谷和彦

(自由民主党)

教育行政について一探究心を持てる教育を!

問 取り組み状況を問う。
答 小・中学校の総合的な学習時間の見直しを図り、探究心を大切にした学習を進め、実社会、実生活に活用できる力を育成します。

問 害獣被害状況を問う。
答 アライグマやハクビシンなどによる屋根裏や庭への糞尿被害、野菜から果樹まで多岐にわたる収穫間際の農作物被害が発生しています。

問 インクルーシブ遊具の整備概要を問う。
答 バリアフリー基本構想に基づき、日野中央公園へ都補助金を活用して今年度整備します。

12 窪田知子

(公明党)

女性の活躍推進について

問 デジタル技能を学べる講座開催などの支援を産官学の連携で行うことについての見解を問う。
答 地域女性活躍推進交付金などを活用しながら、女性デジタル人材育成の進め方を検討します。

問 拡幅事業の現状は。
答 JR東日本との協定締結が必要のため、予算措置など準備を進めます。

問 JR黒川踏切拡幅について
答 個別最適な学びの場をつくり、その中で子ども自身が自立や社会参加を図るための力、地域の一員として生きていける力を身につけられるよう、学校、家庭、地域、関係機関が連携して共生社会の実現を目指します。

2 森沢美和子

(チームみらい)

地域包括ケアとはすべての人に行き届くケア(おひとり様支援)について、子どものいない人生を考へる

問 市の支援を問う。
答 高齢者をはじめとした単身世帯を対象にライフラインの供給事業者、郵便局などの公共公益機関と連携し見守り支援を行うとともに、セーフティ

問 イネットコールセンターを総合相談窓口として関係課や関係機関と連携しながら対応しています。

問 エンディングノートについて問う。
答 もしもの時に備え、自身の望む医療やケアを前もって考え、家族や医療、ケアチームなどと共有し、実施をするきっかけとなるものと考えています。

4 有賀精一

(無党派)

新選組フェスタと元副市長と万願寺中央公園の管理等について問う

問 万願寺中央公園に対する見回りは行われているのか。
答 業務委託先の常駐管理員から、施設などについて異常があれば連絡を受け、市が修繕などの対応を行っています。また、不定期で市職員による巡回の許可を受けています。

問 万願寺中央公園に対する見回りは行われているのか。
答 まんがんじ児童館の建物は、法律にのっとりしているのか問う。

問 令和8年3月31日まで、仮設建築物許可申請の許可を受けています。

7 中嶋良樹

(チームみらい)

働く現役世代(支え手)の負担軽減を!健康寿命の延伸と医療費の抑制について

問 2025年・2040年問題を見据えた取り組みについて問う。
答 令和3年度に第4期「日野人げんき」プランを策定し、健康寿命延伸のための各種事業を推進していくことを目的に

問 健康づくり、がん対策、歯とお口の健康づくりの3本の計画を柱として展開しています。

問 健康増進普及月間の取り組みについて問う。
答 健康寿命延伸のため、毎年9月に生活習慣病の特性や健康的な生活習慣の重要性について普及啓発活動を行っています。

10 奥野りん子

(無党派)

中程度難聴高齢者を補聴器につなげるための市独自の支援を!

問 補聴器の購入に対する市の助成を問う。
答 耳鼻咽喉科医の意見や高齢者の声を聞きながら準備を進めます。

問 通学路の補修に優先順位をつけるべきでは。危険と判断した箇所については補修しています。

問 国が提示した補助金を受けられない理由を問う。
答 今回の補助は時限的であると考えました。

13 白井なおこ

(無党派)

子どもが主役の学校に!新教育長に問う

問 校則は何のためにあるのか。
答 文科省の指導要領では、児童・生徒が心身の発達過程にあることや学校が集団生活の場であることから一定の決まりが必要としています。

問 個別最適な学びの場をつくり、その中で子ども自身が自立や社会参加を図るための力、地域の一員として生きていける力を身につけられるよう、学校、家庭、地域、関係機関が連携して共生社会の実現を目指します。

問 学習指導要領に基づき、子どもが主役として子ども目線で政策を考え、子どもたちが主体的に必要な資質、能力を身につけていけるよう取り組みます。